



令和4年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和4年3月10日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川邊 史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理統括部長 (氏名) 宮本 省三

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 令和4年3月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年7月期第2四半期の業績(令和3年8月1日～令和4年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 4年7月期第2四半期 | 2,911 | 27.9 | 523 | 107.4 | 548 | 108.9 | 381 | 99.8 |
| 3年7月期第2四半期 | 2,276 | 22.1 | 252 | 45.2 | 262 | 44.3 | 191 | 44.1 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 4年7月期第2四半期 | 47.52 | |
| 3年7月期第2四半期 | 23.77 | |

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、令和4年7月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。増減率は適用前の前年同四半期の業績を基礎に算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 4年7月期第2四半期 | 12,147 | 9,417 | 77.5 | 1,172.42 |
| 3年7月期 | 12,069 | 9,410 | 78.0 | 1,171.47 |

(参考)自己資本 4年7月期第2四半期 9,417百万円 3年7月期 9,410百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、令和4年7月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。増減率は適用前の前年同四半期の業績を基礎に算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 3年7月期 | | 0.00 | | 30.00 | 30.00 |
| 4年7月期 | | 0.00 | | | |
| 4年7月期(予想) | | | | 30.00 | 30.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年7月期の業績予想(令和3年8月1日～令和4年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,700 | 16.6 | 1,340 | 35.4 | 1,350 | 29.2 | 920 | 21.7 | 114.53 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。増減率は適用前の前期の業績を基礎に算定しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 4年7月期2Q | 8,042,881 株 | 3年7月期 | 8,042,881 株 |
| 期末自己株式数 | 4年7月期2Q | 10,128 株 | 3年7月期 | 10,108 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 4年7月期2Q | 8,032,770 株 | 3年7月期2Q | 8,032,949 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 7 |
| 第2四半期累計期間 | 7 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |
| (1) 受注及び販売の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用しております。経営成績に関する説明における前年同期との比較、及び財政状態に関する説明における前事業年度末との比較については、当該会計基準等を適用する前の前会計年度の数値を用いて比較しております。

詳細については、「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご参照ください。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、先進国を中心とした新型コロナウイルスワクチン接種の進展と積極的な経済対策に支えられて、全体として堅調な回復が続きました。一方で急回復した需要の増加に供給が十分に追いつかない状態となり、世界的な部材不足や物流の目詰まりといった供給制約の問題が発生しております。更に国内では、変異株の発生に伴い新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいて5G（第5世代移動通信システム）の立ち上がりを背景にしたスマートフォン向けや自動車向けセンサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械素子）といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、本格生産への移行が着実に進んでおります。加えて、新しい生活様式の浸透によるオンライン化が急速に進んでいることにより、半導体等電子部品製造装置の需要は拡大しております。

このような状況の下、当社ではオプトエレクトロニクス分野では通信用レーザーや光導波路用途、電子部品分野では高周波デバイス、パワーデバイス、量子デバイス、CMOS（Complementary Metal Oxide Semiconductor＝相補性金属酸化膜半導体）センサー用途、シリコン分野では欠陥解析用途、表示デバイス分野ではVRディスプレイ用途、その他分野では、医療・バイオテクノロジー用途向けの製造装置の販売実績がありました。また、新規事業（ヘルスケア事業）の創出に向けた技術開発への取り組みや、水蒸気を用いたプラズマ処理装置であるAqua Plasma（アクアプラズマ）洗浄装置の拡販による新たな事業領域の拡大に注力いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が2,911百万円（前年同期比27.9%増）、営業利益は523百万円（前年同期比107.4%増）、経常利益は548百万円（前年同期比108.9%増）、四半期純利益は381百万円（前年同期比99.8%増）となりました。

（用途別売上高）

| 用途 | 売上高（千円） | 構成比（%） | 前年同期比（%） |
|---------------|-----------|--------|----------|
| オプトエレクトロニクス分野 | 408,144 | 14.0 | △10.3 |
| 電子部品分野 | 1,044,321 | 35.9 | 0.4 |
| シリコン分野 | 275,222 | 9.4 | 359.6 |
| 実装・表面処理分野 | 30,820 | 1.1 | △68.0 |
| 表示デバイス分野 | 62,900 | 2.2 | 172.2 |
| その他分野 | 226,645 | 7.8 | 123.8 |
| 部品・メンテナンス | 863,342 | 29.7 | 72.6 |
| 合計 | 2,911,397 | 100.0 | 27.9 |

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期末の資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,709百万円で前事業年度末に比べ4百万円減少いたしました。棚卸資産が517百万円増加した一方、現金及び預金が306百万円、売掛金及び契約資産が236百万円減少したのが主な要因であります。

（固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、4,437百万円で前事業年度末に比べ82百万円増加いたしました。繰延税金資産が58百万円、投資有価証券が27百万円増加したのが主な要因であります。

（流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,883百万円で前事業年度末に比べ62百万円増加いたしました。買掛金が78百万円、未払金が27百万円減少した一方、収益認識会計基準等の適用に伴い契約負債が183百万円増加したのが主な要因であります。

（固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、845百万円で前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。役員退職慰労引当金が4百万円増加したのが主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、9,417百万円で前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。繰越利益剰余金が509百万円減少した一方、別途積立金が500百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円増加したのが主な要因であります。自己資本比率は77.5%と前事業年度末に比べ0.5ポイント低下いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ320百万円減少し、2,644百万円（前事業年度末比10.8%減）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は94百万円（前年同期に使用した資金は47百万円）となりました。これは主に税引前四半期純利益が548百万円、契約負債の増加が104百万円に対して、棚卸資産の増加が308百万円、売上債権及び契約資産の増加が257百万円、法人税等の支払が155百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3百万円（前年同期に使用した資金は90百万円）となりました。その主な内容は、定期預金の払戻による収入が1,390百万円、貸付金の回収による収入が53百万円に対して、定期預金の預入による支出が1,402百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は244百万円（前年同期に使用した資金は206百万円）となりました。これは主に配当金の支払が240百万円であったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年7月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、令和3年9月10日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (令和3年7月31日) | 当第2四半期会計期間 (令和4年1月31日) |
|-------------|----------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,826,002 | 4,519,666 |
| 受取手形 | 10,672 | 29,502 |
| 電子記録債権 | 41,176 | 146,968 |
| 売掛金 | 1,858,335 | — |
| 売掛金及び契約資産 | — | 1,621,723 |
| 仕掛品 | 679,474 | 1,127,512 |
| 原材料及び貯蔵品 | 171,191 | 240,843 |
| 前払費用 | 15,261 | 8,330 |
| その他 | 112,646 | 15,380 |
| 貸倒引当金 | △199 | △182 |
| 流動資産合計 | 7,714,562 | 7,709,745 |

（単位：千円）

| | 前事業年度 (令和3年7月31日) | 当第2四半期会計期間 (令和4年1月31日) |
|-----------------|----------------------|---------------------------|
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,092,273 | 1,095,951 |
| 減価償却累計額 | △768,498 | △785,307 |
| 建物（純額） | 323,774 | 310,644 |
| 構築物 | 26,536 | 26,536 |
| 減価償却累計額 | △24,748 | △24,825 |
| 構築物（純額） | 1,787 | 1,711 |
| 機械及び装置 | 762,424 | 764,976 |
| 減価償却累計額 | △707,556 | △719,968 |
| 機械及び装置（純額） | 54,867 | 45,007 |
| 車両運搬具 | 55,024 | 55,024 |
| 減価償却累計額 | △48,155 | △49,707 |
| 車両運搬具（純額） | 6,868 | 5,317 |
| 工具、器具及び備品 | 240,913 | 241,514 |
| 減価償却累計額 | △216,398 | △221,411 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 24,514 | 20,102 |
| 土地 | 3,231,918 | 3,231,918 |
| リース資産 | 50,790 | 50,790 |
| 減価償却累計額 | △46,775 | △48,278 |
| リース資産（純額） | 4,014 | 2,512 |
| 建設仮勘定 | 1,076 | 14,539 |
| 有形固定資産合計 | 3,648,823 | 3,631,754 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 2,962 | 2,962 |
| 水道施設利用権 | 424 | 283 |
| リース資産 | 5,226 | 3,527 |
| 無形固定資産合計 | 8,613 | 6,773 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 305,047 | 332,342 |
| 関係会社株式 | 25,207 | 25,207 |
| 出資金 | 5,000 | 5,000 |
| 関係会社長期貸付金 | 23,565 | 20,460 |
| 繰延税金資産 | 100,662 | 159,144 |
| 差入保証金 | 78,158 | 76,511 |
| 保険積立金 | 158,925 | 179,066 |
| その他 | 1,302 | 1,211 |
| 投資その他の資産合計 | 697,869 | 798,944 |
| 固定資産合計 | 4,355,307 | 4,437,472 |
| 資産合計 | 12,069,869 | 12,147,217 |

（単位：千円）

| | 前事業年度 (令和3年7月31日) | 当第2四半期会計期間 (令和4年1月31日) |
|--------------|----------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 646,532 | 567,604 |
| 短期借入金 | 700,000 | 700,000 |
| リース債務 | 6,403 | 5,184 |
| 未払金 | 125,178 | 98,197 |
| 未払費用 | 37,407 | 33,250 |
| 未払法人税等 | 175,929 | 188,792 |
| 契約負債 | — | 183,945 |
| 預り金 | 34,225 | 22,341 |
| 賞与引当金 | 23,100 | 24,600 |
| 役員賞与引当金 | 30,000 | 9,271 |
| 製品保証引当金 | 18,400 | 17,200 |
| その他 | 24,036 | 33,309 |
| 流動負債合計 | 1,821,212 | 1,883,697 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 2,838 | 854 |
| 長期末払金 | 227 | 68 |
| 退職給付引当金 | 460,095 | 464,663 |
| 役員退職慰労引当金 | 375,291 | 380,121 |
| 固定負債合計 | 838,452 | 845,708 |
| 負債合計 | 2,659,665 | 2,729,405 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,663,687 | 1,663,687 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 2,079,487 | 2,079,487 |
| 資本剰余金合計 | 2,079,487 | 2,079,487 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 59,500 | 59,500 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 3,867,000 | 4,367,000 |
| 繰越利益剰余金 | 1,590,547 | 1,081,247 |
| 利益剰余金合計 | 5,517,047 | 5,507,747 |
| 自己株式 | △12,184 | △12,238 |
| 株主資本合計 | 9,248,037 | 9,238,683 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 162,165 | 179,128 |
| 評価・換算差額等合計 | 162,165 | 179,128 |
| 純資産合計 | 9,410,203 | 9,417,811 |
| 負債純資産合計 | 12,069,869 | 12,147,217 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 令和2年8月1日 至 令和3年1月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 令和3年8月1日 至 令和4年1月31日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 2,276,167 | 2,911,397 |
| 売上原価 | 1,106,798 | 1,505,512 |
| 売上総利益 | 1,169,368 | 1,405,884 |
| 販売費及び一般管理費 | 917,149 | 882,798 |
| 営業利益 | 252,218 | 523,086 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 546 | 227 |
| 受取配当金 | 1,635 | 1,854 |
| 為替差益 | 5,360 | 16,575 |
| 受取賃貸料 | 1,492 | 5,791 |
| 補助金収入 | 1,427 | 1,245 |
| 雑収入 | 2,102 | 1,964 |
| 営業外収益合計 | 12,563 | 27,657 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,764 | 1,856 |
| 売上割引 | 259 | — |
| 雑損失 | 0 | — |
| 営業外費用合計 | 2,024 | 1,856 |
| 経常利益 | 262,758 | 548,886 |
| 税引前四半期純利益 | 262,758 | 548,886 |
| 法人税等 | 71,737 | 167,166 |
| 四半期純利益 | 191,020 | 381,720 |

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 (自 令和2年8月1日 至 令和3年1月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 令和3年8月1日 至 令和4年1月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 262,758 | 548,886 |
| 減価償却費 | 46,383 | 39,203 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,181 | △2,081 |
| 支払利息 | 1,764 | 1,856 |
| 為替差損益（△は益） | △1,505 | △22,923 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 9 | △16 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 300 | 1,500 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △24,391 | △20,729 |
| 製品保証引当金の増減額（△は減少） | △6,100 | △1,200 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 1,320 | 4,567 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △16,816 | 4,830 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △94,779 | — |
| 売上債権及び契約資産の増減額（△は増加） | — | △257,087 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △241,652 | △308,941 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 208,506 | △78,928 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △64,976 | 33,302 |
| 前受金の増減額（△は減少） | 205,084 | — |
| 契約負債の増減額（△は減少） | — | 104,271 |
| その他 | △74,103 | 12,972 |
| 小計 | 199,620 | 59,482 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,171 | 2,135 |
| 利息の支払額 | △928 | △1,081 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △247,969 | △155,423 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △47,106 | △94,887 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,398,814 | △1,402,031 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,395,460 | 1,390,301 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △65,608 | △20,018 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,758 | △2,877 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,726 | 53,009 |
| 保険積立金の積立による支出 | △20,140 | △20,140 |
| その他 | △451 | △1,681 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △90,586 | △3,439 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △481 | △54 |
| 配当金の支払額 | △200,824 | △240,983 |
| その他 | △5,221 | △3,201 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △206,528 | △244,239 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 118 | 21,758 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △344,102 | △320,808 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,476,531 | 2,965,313 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,132,428 | 2,644,505 |

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

会計方針の変更

① 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスを顧客に移転することにより履行義務を充足した時点で、当該財またはサービスの顧客への移転と交換に権利を生むと見込まれる対価の額を収益と認識しております。

半導体等電子部品製造装置の販売において、従来は、国内販売においては装置の出荷時に、輸出版売においては輸出通関時に収益を認識しておりましたが、この適用により、「装置の引渡し」と「装置の設置に関連する役務（据付、立上げ、調整等）の提供」を別個の履行義務として識別し、それぞれの履行義務が充足された時点にて収益を認識することといたしました。具体的には、「装置の引渡し」については、国内販売においては装置の出荷時に、輸出版売においては主に輸出通関時に収益を認識し、「装置の設置に関連する役務（据付、立上げ、調整等）の提供」については検収時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は180,826千円増加し、売上原価は186,500千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ83,929千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は150,037千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期会計期間より「売掛金及び契約資産」に、「流動負債」の「その他」に含めておりました「前受金」は、第1四半期会計期間より「契約負債」に含めて表示しております。また、前第2四半期累計期間のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額（△は増加）」は、当第2四半期累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）」に含めて表示し、「前受金の増減額（△は減少）」は、当第2四半期累計期間より「契約負債の増減額（△は減少）」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 令和2年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

② 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

（企業会計基準第10号 令和元年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 受注実績

(単位：千円)

| 区 分 (品目別) | 前第2四半期累計期間 (自 令和2年8月1日 至 令和3年1月31日) | | 当第2四半期累計期間 (自 令和3年8月1日 至 令和4年1月31日) | | 前事業年度 (自 令和2年8月1日 至 令和3年7月31日) | |
|--------------|---|-----------|---|-----------|--------------------------------------|-----------|
| | 受注高 | 受注残 | 受注高 | 受注残 | 受注高 | 受注残 |
| CVD装置 | 390,521 | 547,111 | 383,731 | 613,448 | 1,094,424 | 772,068 |
| エッチング装置 | 1,754,818 | 1,299,406 | 2,114,627 | 2,412,966 | 3,651,150 | 1,649,443 |
| 洗浄装置 | 265,343 | 107,504 | 388,178 | 311,590 | 466,684 | 78,011 |
| 部品・メンテナンス | 647,578 | 362,813 | 1,136,331 | 801,134 | 1,604,648 | 528,145 |
| 合計 | 3,058,263 | 2,316,835 | 4,022,868 | 4,139,139 | 6,816,907 | 3,027,668 |

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 前事業年度の受注残は、収益認識会計基準等の適用後の数値を記載しております。

② 販売実績

(単位：千円)

| 区 分 (品目別) | 前第2四半期累計期間 (自 令和2年8月1日 至 令和3年1月31日) | | 当第2四半期累計期間 (自 令和3年8月1日 至 令和4年1月31日) | | 前事業年度 (自 令和2年8月1日 至 令和3年7月31日) | |
|--------------|---|---------|---|---------|--------------------------------------|---------|
| | 金 額 | 構成比 (%) | 金 額 | 構成比 (%) | 金 額 | 構成比 (%) |
| CVD装置 | 296,000 | 13.0 | 542,351 | 18.6 | 912,506 | 15.9 |
| エッチング装置 | 1,127,596 | 49.5 | 1,351,104 | 46.4 | 2,931,631 | 51.0 |
| 洗浄装置 | 352,494 | 15.5 | 154,599 | 5.3 | 610,714 | 10.6 |
| 部品・メンテナンス | 500,075 | 22.0 | 863,342 | 29.7 | 1,291,813 | 22.5 |
| 合計 | 2,276,167 | 100.0 | 2,911,397 | 100.0 | 5,746,666 | 100.0 |

(注) 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

| 区 分 (地域別) | 前第2四半期累計期間 (自 令和2年8月1日 至 令和3年1月31日) | | 当第2四半期累計期間 (自 令和3年8月1日 至 令和4年1月31日) | | 前事業年度 (自 令和2年8月1日 至 令和3年7月31日) | |
|--------------|---|---------|---|---------|--------------------------------------|---------|
| | 金 額 | 構成比 (%) | 金 額 | 構成比 (%) | 金 額 | 構成比 (%) |
| アジア | 656,589 | 78.1 | 645,793 | 78.9 | 1,857,676 | 76.0 |
| 北米 | 30,957 | 3.7 | 105,285 | 12.9 | 343,350 | 14.0 |
| 欧州 | 153,341 | 18.2 | 34,127 | 4.2 | 244,724 | 10.0 |
| その他 | — | — | 33,147 | 4.0 | — | — |
| 輸出販売高合計 | 840,888 (36.9%) | 100.0 | 818,354 (28.1%) | 100.0 | 2,445,750 (42.6%) | 100.0 |

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。